

～市職員研修～ まちづくりに向け 官民が取り組むべき姿や役割とは 新幹線開業に向けたまちづくり研修会を開催しました

～土台づくりと民間プレイヤーの育成を～

10月30日、市働く婦人の家におきまして、まちづくりのソフト事業など、独自の視点で取り組まれている「(一社)福井県まちづくりセンター代表理事の竹本祐司氏」をお招きし市職員研修会を行いました。

当日は、市議会の代表、市商工会議所、県嶺南振興局からもあわせて90名がまちづくりについて理解を深めました。

竹本氏は、ご自身の経験を踏まえて、まちを変えるためには、民間プレイヤーの力が不可欠であり、ソフト事業における行政の役割は、民間が活動しやすい土台をつくり、プレイヤーを育成することが大切であると指摘。さらに、行政が情報の一元化を行い、民間と共同で「人」と「情報」を調整することが大切だと強調されました。



まちづくりの理解を深めた市職員研修会